KYOCERA

特定非営利法人 神奈川脊椎研究協会

KSRS Webセミナー

Kanagawa Spine Research Society Web seminar

日時 2022年7月8日(金) 18:30～19:30

会場 ZOOMによるWebセミナーです

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_vohdiPSOTX2nU_sAeZ1ZQQ

参加費 無　料

座長 東海大学外科学系 整形外科学 准教授 酒井 大輔 先生



テーマ

成人脊柱変形手術における合併症予防のための手術手技



演者 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 医長 関屋 辰洋 先生

当院における骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略



演者 秦野赤十字病院 第二整形外科 部長 松山 大輔 先生

京セラ株式会社 メディカル事業部
〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/

©2022 KYOCERA Corporation

成人脊柱変形手術における合併症予防のための手術手技

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
医長
関屋 辰洋

成人脊柱変形手術において、術後感染やPJK/PJF、ロッド折損といった合併症は、ときに治療に難渋し、再手術などを余儀なくされることもありますが、いまだに解決されていません。これら合併症のリスク因子は年齢や性別、骨密度といった患者背景から手術時間や出血量といった手術関連因子、あるいは術前のアライメント、矯正の程度や固定の範囲など多岐にわたります。適切な患者選択や介入可能である術前骨粗鬆症治療、至適な矯正を目指すことを前提とし、これら合併症を予防するため当院でおこなっている手術手技について紹介させていただきます。

当院における骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略

秦野赤十字病院
第二整形外科 部長
松山 大輔

骨粗鬆症性椎体骨折（OVF）は超高齢化社会において発生頻度は増加傾向にあります。保存治療抵抗性の症例に対しては、経皮的椎体形成術（Balloon kyphoplasty；BKP）が有効であることが報告されており、2021年6月より、新しい経皮的椎体形成術の手術デバイスとして、椎体内にステントを拡張させた上で、骨セメントを充填させるVertebralbody stent（VBS）が使用可能となりました。BKP、VBSの治療成績を報告するとともに、当院におけるOVFの治療戦略を紹介させていただきます。

視聴方法

❶下記URLまたはQRコードから事前登録を
完了いただくと視聴用URLが届きます。

❷当日は視聴用URLよりアクセスをお願いいたします。

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_vohdiPSOTX2nU_sAeZ1ZQQ